



このマニュアルについて

ここでは、『Cisco ASA シリーズ ファイアウォール ASDM コンフィギュレーション ガイド』の概要を示します。次の項目について説明します。

- 「マニュアルの目的」(P.xxiii)
- 「関連資料」(P.xxiii)
- 「表記法」(P.xxiv)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」(P.xxv)

マニュアルの目的

このマニュアルは、ASDM を使用して ASA のファイアウォール機能を設定する際に役立ちます。このマニュアルは、すべての機能を網羅しているわけではなく、ごく一般的なコンフィギュレーションの事例を紹介しています。

このマニュアルは、Cisco ASA シリーズに適用されます。このマニュアルを通じて、「ASA」という語は、特に指定がなければ、一般的にサポートされているモデルに適用されます。



(注)

ASDM では、多数の ASA バージョンをサポートしています。ASDM のマニュアルおよびオンラインヘルプには、ASA でサポートされている最新機能がすべて含まれています。古いバージョンの ASA ソフトウェアを実行している場合、ご使用のバージョンでサポートされていない機能がこのマニュアルに含まれている場合があります。同様に、古いメジャー バージョンまたはマイナー バージョンのメンテナンス リリースに機能が追加された場合、この新機能は、以降のすべての ASA リリースで使用できない場合でも、ASDM のマニュアルに含まれています。各章の機能履歴テーブルを参照して、機能がいつ追加されたかを確認してください。各 ASA バージョンでサポートされている ASDM の最小バージョンについては、『Cisco ASA Series Compatibility』を参照してください。

関連資料

詳細については、<http://www.cisco.com/en/US/docs/security/asa/roadmap/asaroadmap.html> の『Navigating the Cisco ASA Series Documentation』を参照してください。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	用途
太字フォント	コマンド、キーワード、およびユーザが入力したテキストは、 太字 フォントで示しています。
イタリック体フォント	ドキュメント名、新規用語または強調する用語、値を指定するための引数は、 <i>イタリック体</i> フォントで示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x y z }	必ずいずれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
courier フォント	システムが表示するターミナルセッションおよび情報は、courier フォントで示しています。
太字の courier フォント	コマンド、キーワード、およびユーザが入力したテキストは、 太字の courier フォントで示しています。
イタリック体の courier フォント	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体の courier</i> フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[]	システムプロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。



(注)

「注釈」です。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。これは、
<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html> にあります。

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。これには、新規および改訂されたシスコ技術マニュアルの一覧が掲載されており、リーダー アプリケーションを使用して直接デスクトップにコンテンツが配信されます。RSS フィードは無料のサービスです。

